

令和4年度 第2回（第6期第4回）新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和5年1月23日（月）午後6時～8時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委 員：遠山、長山、笠井、則竹、富田、豊岡、江曾、大神田、伊藤、横倉、松尾、各委員
事務局：小泉文化観光産業部長、市田産業振興課長、高井産業振興係長、吉田産業振興主査、
山本主任、国分主事

【欠席者】 植田委員、友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

(1) 専門部会実施報告について

資料1に基づき、事務局より説明した。

専門部会委員よりコメントをいただいた。

(2) 第6期産業振興会議報告書骨子（案）について

- ・資料2に基づき、事務局より説明し、各委員から意見を求めた。
- ・各委員からは資料2 新宿区産業振興会議 第6期報告書 骨子（案）第3章「アフターコロナを見据えた施策の方向性について」に関する意見があった。発言内容は以下のとおり。

3 主な発言要旨

- ・「アフターコロナを見据えた施策の方向性」と章立てをしているが、コロナのみではなく、足元の物価高騰など、様々な状況変化によって危機が続いていることや、それに対するレジリエンス（回復力）の向上に触れることも必要では。
- ・物価高騰でのコスト高を販売価格にどう発想を変えて転嫁していくかを考えていくことが重要。
- ・「施策の方向性」の章でいきなり創業の話から入ることが唐突に感じる。
- ・ハード面だけではなく、ソフト面の支援についても論じてもいいのでは。例として、ビジネス交流会はベテラン事業者が起業家の悩みを聞く場にする。
- ・他区にはない特色が必要。エネルギー価格が高騰するなかで、脱炭素化やカーボンニュートラルを中小企業が実施するきっかけとなるような具体的な施策を出していくことが重要。
- ・創業支援の取り組みの方向性がこれまでと同じで新しさが感じられない。
- ・創業について、若者なのか女性なのか、ターゲットを絞って新宿らしさを出すことが重要。
- ・創業者が成長しやすい環境づくりをどう進めていくかが重要。
- ・新宿には様々なエンタメがあり、何に重きをおいて発信していくかが重要。
- ・若者が喜ぶような新宿らしい応援の仕方が必要。

- ・町会や商店街間で人が集まるノウハウなどを教え合う仕組みを行政が支援することが必要。
- ・事業承継の施策を区として打ち出すことができれば目玉になるのでは。

4 次回日程について (予定)

第6期第5回産業振興会議

日 時：令和5年3月

会 場：B I Z新宿

5 閉 会